

バス運行関係 ※大枠の概要で、一部後援会総会でも保護者に対して話した内容がある。

東日本大震災による津波の影響で、公共交通機関の路線に不通が生じた。大学に届けられている現住所から調べた結果、被災地域から通学している学生が最も多く、特に公共交通機関の被害が甚大であった「石巻・東松島エリア」に通学バスを設置した。

○津波により J R が不通となった地域からの通学生（教務システム：本人の現住所を基に抽出）

仙石線エリア（牡鹿郡・石巻市・東松島市・宮城郡…利府除く）：253名

※常磐線エリア（南相馬市・相馬市・亶理郡）←開通している亶理駅以南 : 125名

○先述の人数調査により、通学バスの運行ルートを災害対策委員会で決定することとなった。

○公共交通機関の利用で、片道 1000 円以上だが、往復で 250 円と運賃を定めた。

種別	ルート	備考
宮城交通臨時便	石巻 — 仙台	片道 900 円
JR 臨時代行バス	石巻—（代行）—東塩釜（JR）—仙台	JR 代+バス賃

※当時は上記

○当初から公共交通機関（J R 仙石線）の復旧の目処が特に立たないエリアであった。

○公共交通機関（臨時・代行バス）は、震災発生直後から比較すると、便数も増えたが、未だ J R 仙石線の高城～石巻間が復旧していないため、バス乗車が非常に困難な行列となっている。

6/7 現在で、公共交通機関の運行状況を確認したところ

仙石線は高城町～石巻駅間 ⇒運転見合わせ

※常磐線は原ノ町～亶理駅間 ⇒運転見合わせ中。代行バスの設定。亶理—仙台間は本数を減らして運行中。

□公共交通機関の状況

宮城交通臨時バス：石巻～仙台駅 1日 22 便

J R 代行バス : 石巻～松島海岸 1日 17 便

運行開始後の状況について

○当初は 5 月末日で終了とする予定での運行開始であった。

○4/25（月）から運行を開始（石巻駅前→矢本→多賀城 C→土樋 C）

○仙石線の一部復旧により、GW以降 5/9（月）から路線変更（石巻駅前→矢本→多賀城 C→泉 C）

○曜日により、授業の関係で利用者数に差はあるが、平均で 20～30 名程度が利用

■利用者からアンケートをとり、バスの運行中止に向け、利用者の現状を把握した。

当初は、運行を 5 月末までとしていたが、利用学生からの嘆願書（1 回目）提出により、震災復興委員会での検討の末、6 月末までの運行することとした。

→6 月末までの運行を周知していたが、利用学生からの嘆願書（2 回目）提出により、震災復興委員

会での検討の末、前期終了（8/9）まで運行を延長することとした。

※仙台市内の他大学でも同様の救済措置を行った大学はあったが、その中でも、最も長い救済期間となった。